

テーマ2

園芸生産拡大事業について

当JAでは園芸振興の一環として「ミニトマト」「アスパラガス」「シャインマスカット」「パプリカ」「ストック」の5品目に絞った園芸拡大の推進を取り組んできました。

この園芸生産拡大事業においてはJA独自に「園芸チャレンジハウス支援事業」を展開し、これら5品目に取り組む生産者へ新設ハウスや関連する資材への支援を実施してまいりました。園芸生産拡大事業は継続し推進してまいります。が、「園芸チャレンジハウス支援事業」につきましては令和3年度が最終年度でありましたので、これまでの各品目の経過と今後の展開についてご報告いたします。



(1) ミニトマト

年 度	生産者数	栽培面積(a)	出荷数量(kg)	販売金額(円)	単収(円/10a)	伸び率(面積)
平成29年度	46	234.2	88,737	48,896,158	2,087,795	
平成30年度	47	242.1	84,993	48,462,455	2,001,754	103%
令和元年度	51	263.3	98,775	53,861,093	2,045,617	112%
令和2年度	49	248.8	73,809	41,603,954	1,672,184	106%
令和3年度	46	251.1	101,792	56,246,052	2,039,986	107%

作業体系に合わせて4品種を推奨し拡大してきました。近年は他品目との作業体系や高齢化により生産者数の減少が見られます。しかし既存生産者による規模拡大も見られることから数量は伸びております。収益性も高いことから新規生産者の掘り起しと提案を図ります。



(2) アスパラガス

年 度	生産者数	栽培面積(a)	出荷数量(kg)	販売金額(円)	単収(円/10a)	伸び率(面積)
平成29年度	19	161.8	17,187	19,819,360	1,224,930	
平成30年度	26	205.8	19,022	21,409,650	1,040,313	127%
令和元年度	36	308.5	31,673	37,157,550	1,204,459	190%
令和2年度	37	402.7	35,925	46,934,130	1,165,486	249%
令和3年度	38	427.9	40,018	53,292,160	1,245,435	264%

選果場による収穫後の調整作業も軽減できることもあり、順調に面積拡大につながっております。既存生産者においては雨よけハウスとの併用による栽培体系の構築を図りさらなる拡大に向け推進を図ります。

今後のさらなる拡大と産地化に向け、部会組織の立ち上げを検討しております。



(3) シャインマスカット

年 度	生産者数	栽培面積(a)	出荷数量(kg)	販売金額(円)	単収(円/10a)	伸び率(面積)
平成29年度	28	90.0				
平成30年度	42	131.1				127%
令和元年度	55	172.8				192%
令和2年度	72	201.4	2,876	3,942,260	438,029	224%
令和3年度	97	281.2	3,214	6,400,560	488,220	312%

苗木購入にも支援を実施し毎年200本ほど新植されており順調に拡大につながっております。初年度に植えたものが3年後となる令和2年度から出荷開始されました。

令和3年度には「ぶどう出荷組合」を設立しており、定期的な講習会の実施と先進地視察などの組織活動も充実させさらなる拡大による産地化を図ります。



(4) パプリカ

年 度	生産者数	栽培面積(a)	出荷数量(kg)	販売金額(円)	単収(円/10a)	伸び率(面積)
平成29年度	48	429.0	216,105	99,363,936	2,316,176	
平成30年度	47	446.4	211,999	100,816,018	2,258,231	104%
令和元年度	50	477.2	212,134	112,128,141	2,349,774	111%
令和2年度	49	489.0	231,297	111,941,064	2,289,399	114%
令和3年度	46	496.9	267,791	122,300,756	2,461,443	116%

平成15年から栽培が始まり年々拡大してきた品目であります。販売額も1億を超え基幹品目の一つとなっております。拡大事業においても伸びてはいるものの、既存の生産者による拡大によるものとなってきていることから新規生産者の掘り起しと提案を図ります。



(5) ストック

年 度	生産者数	栽培面積(a)	出荷数量(kg)	販売金額(円)	単収(円/10a)	伸び率(面積)
平成29年度	41	583.4	1,093,490	105,587,210	1,809,860	
平成30年度	41	623.7	1,128,160	83,099,340	1,332,361	107%
令和元年度	37	602.1	966,300	92,674,670	1,539,191	103%
令和2年度	37	600.2	797,220	59,951,005	998,850	103%
令和3年度	35	538.8	837,370	58,859,075	1,092,410	92%

令和元年度より拡大事業にストックが加わったことにより新規栽培者の増加は見られたものの、既存生産者の高齢化による面積減少が際立ってきています。平成29年度までは販売金額1億円品目の一つであり、日本でも有数の産地だったこともあり、専門部と連携を取りながら新規生産者の掘り起しと提案ならびに既存生産者への面積拡大の推進を図ります。

令和4年度からはこれまでの「園芸チャレンジハウス支援事業」を継承する「施設園芸拡大支援事業」を令和6年度まで実施しております。

園芸生産拡大事業や新たに園芸栽培を考えられている方は随時ご相談に応じます。最寄りの園芸センターもしくは本所園芸課までお問い合わせ願います。

園芸生産拡大事業及び園芸に関するお問い合わせ

- 酒田園芸センター ☎28-2738
- 酒田南園芸センター ☎92-2870
- 遊佐園芸センター ☎76-2415
- 本所 園 芸 課 ☎26-5571